

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年2月16日)

- 1 関西広域連合「関西観光・文化振興計画」の見直しについて  
【文化政策課】・・・1ページ
- 2 ようこそようこそ鳥取県運動取組指針の改定に係るパブリック  
コメントの実施について  
【観光戦略課】・・・2ページ
- 3 アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム・プレ  
イベントの実施について  
【観光戦略課】・・・3ページ
- 4 平成26年米子ーソウル国際定期利用の来県外国人による鳥取県への  
経済波及効果の暫定値について  
【観光戦略課】・・・4ページ
- 5 第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会について  
【スポーツ課】・・・6ページ
- 6 『これは事件だ!?!』鳥取砂丘コナン空港オープニングセレモニーについて  
【まんが王国官房】・・・9ページ

文化観光スポーツ局



# 関西広域連合「関西観光・文化振興計画」の見直しについて

平成27年 2月16日  
文化政策課  
観光戦略課  
緑豊かな自然課

関西広域連合では、府県の枠組みを越え、関西を一つとして捉える国際観光・文化振興の戦略的取組の方向を明記した「関西観光・文化振興計画」を策定しています（平成24年3月策定）。

現在、平成27年度からの次期計画を策定中で（計画期間：平成27年度～29年度）、これまでに関西広域連合委員会での議論、有識者会議からの意見聴取、パブリックコメントを行い、その作業を進めていましたが、このほど最終案が関西広域連合委員会です承されました。今後、3月1日に開催される関西広域連合議会に上程され、承認されれば、当計画に基づき取り組んでいきます。

## 【新計画の概要】

東京オリンピック・パラリンピック等の開催を、関西の魅力ある多様な観光・文化資源に触れてもらう絶好の機会として捉え、関西への訪日外国人旅行者数800万人等を目指す『2020年（フレフレ）関西！800万人作戦』を新たな目標に、国際観光・文化振興の新たなステージとして戦略的な取組方向を明記した。

### 1 新たな目標の設定

広域観光圏関西のブランド力、周遊力、滞在力をさらに高めていくため、①関西により多くの外国人観光客に訪れてもらう、②関西により長く滞在してもらう、③関西の文化に触れてもらう、ことで関西ファンの拡大を目指す『2020年（フレフレ）関西！800万人作戦』を新たな目標に設定した。

### 2 目標達成のための戦略

#### (1) KANSAI を世界に売り込む

・関西の食文化やまんが・アニメ、世界遺産など関西の魅力の世界への発信や他の観光圏からの外国人観光客を関空アウトに誘導する広域ツアールート確立 など

#### (2) 新しいインバウンド市場への対応

・外国人観光客に人気の高い産地グルメ、ショッピング、温泉、和のしつらえなどの積極的なPR、花見や紅葉、地域の祭りなど季節感溢れる関西の魅力をタイムリーに発信し、新たな誘客とリピーター化を図る  
・国のクールジャパン事業と連携し、「和食」や「まんが・アニメ」「ファッション」など関西で体験できる関西クールジャパン事業を展開する  
・瀬戸内海や琵琶湖など船の周遊や、レンタカーで移動して「山陰海岸ジオパーク」や「南紀熊野ジオパーク」などの地質の道、関西の城などを巡る新しい広域観光スタイルの確立 など

#### (3) 的確なマーケティング戦略による誘客

・東アジアの国・地域にはリピーターが求める情報の発信、今後成長が期待できる東南アジア諸国には「身近に行ける関西」をアピールする など

#### (4) 安心して楽しめるインフラ整備の充実

・無料公衆無線LAN整備や観光案内標識、決済環境の整備、ムスリムへの対応 など  
※ムスリム…イスラム教徒

#### (5) 関西文化の魅力発信

・「人形浄瑠璃」「祭り」などの文化芸術資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業を展開し、関西の魅力を発信する  
・「関西文化.com」の多言語化や掲載情報の充実  
・「関西文化の日」を通じた関西の文化に親しむ機会の充実 など

#### (6) 関西文化の継承とプラットフォームづくり

・東京オリンピック・パラリンピック等に向けた関西文化の振興策の検討  
・次世代継承・人材育成事業の検討実施 など

#### (7) 東京オリンピック・パラリンピック等に向けて

・国とも連携した関西文化プログラムの実施、関西の歴史的周年事業などを発信する関西文化首都年事業の関西各地での実施  
・古典楽劇の上演や障がい者の芸術イベントの情報発信支援 など

# ようこそようこそ鳥取県運動取組指針の改定に係るパブリックコメントの実施について

平成27年2月16日  
観光戦略課

高速道路網の整備進展、空路、海路の充実といった大交流時代の進展及び個人旅行の増加、訪日外国人の大幅な増加等を踏まえ、計画期間満了となる「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針（平成22年5月策定、計画期間：平成22～26年度）」を改定することとし、広く県民の意見を求めるため、パブリックコメントを実施する。

- 1 意見募集の方法 平成27年2月17日（火）から3月9日（月）まで
- 2 改定案の概要

鳥取県の誘客力、滞在力・周遊力、おもてなし力をさらに高めていくため、①鳥取県を認知し、より多くの観光客に訪れてもらう、②鳥取県により長く滞在してもらい、いたるところにある「良いもの」に触れてもらう、③鳥取県ならではの心のこもったおもてなしでお迎えする ことで鳥取県ファンの拡大と再来訪を目指します。

## ＜新たな目標値の設定＞

指 標	現状	目標値（平成30年度まで）
観光客満足度「大変満足」の割合	※1 21.2%	25%
再来訪意向「大変そう思う」の割合	※2 11.3%	15%
観光消費額	606億円	860億円
一人当たり観光消費額（県外・日帰）	6,228円	7,000円
一人当たり観光消費額（県外・宿泊）	24,655円	27,000円
観光入込客数	10,048千人	11,000千人
宿泊者数	2,555千人	2,800千人
外国人宿泊者数	32千人	50千人

※1 鳥取県の満足層（大変満足＋満足＋やや満足の合計値）は94.7%

※2 鳥取県の再来訪希望層（大変そう思う＋そう思う＋ややそう思うの合計値）は46.4%

## ＜現状数値＞

「観光満足度」、「再来訪意向」は、該当数値のある平成25年値

「観光入込客数」は平成26年見込値、その他の指標は、直近3か年（平成23年～25年）平均値

## ＜目標達成のための戦略＞

<b>戦略Ⅰ 全体戦略 魅力ある観光地‘鳥取’の形成</b>		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本最大級の海岸砂丘「鳥取砂丘」を活用した観光地・鳥取の発信</li> <li>2 歴史が息づく霊峰、スポーツリゾート大山のブランドイメージ形成</li> <li>3 「かに水揚げ量日本一」などを活用した豊かな食にあふれた観光地・鳥取の発信</li> <li>4 「鳥取ならではの」の素材を生かした観光資源の磨き上げと特色あるツーリズムの展開</li> <li>5 周遊性を高める仕組みづくりと情報・アクセスの整備充実</li> <li>6 お客様の心に響くおもてなしの向上</li> <li>7 鳥取観光を担う人材育成と基盤づくり</li> </ol>		
<b>戦略Ⅱ 国内誘客戦略</b>	<b>戦略Ⅲ 海外誘客戦略</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 誘客キャンペーンと戦略的な情報発信・誘客の展開</li> <li>2 県境にとらわれない広域観光の推進</li> <li>3 MICE や教育旅行等誘致による来訪機会の拡大</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 戦略的なプロモーションと情報発信の強化</li> <li>2 航路の安定運航と多彩な玄関口の設定</li> <li>3 受入環境整備</li> </ol>	

## 3 今後の予定

平成27年3月中旬 第3回鳥取県観光振興指針検討委員会  
平成27年3月下旬 最終案公表

# アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム・イベントの実施について

平成27年2月16日  
緑豊かな自然課  
観光戦略課

今年9月のアジア太平洋ジオパークネットワーク（APGN）山陰海岸シンポジウムの開催を控え、気運醸成を図るため、鳥取環境大学が中心となって、イベントとしてシンポジウムを開催します。

## 1 開催時期・会場

- (1) 日時 平成27年3月7日（土）～8日（日）  
・3月7日（土） 10時～17時  
・3月8日（日） 9時～17時

- (2) 会場 鳥取環境大学（鳥取市若葉台北1-1-1） 大講義室・多目的ホール（予定）など

## 2 主催 鳥取環境大学

## 3 協力 鳥取県、鳥取市、岩美町、山陰海岸ジオパーク推進協議会

## 4 全体テーマ 「ジオパーク：知識と経験の共有」

## 5 内容

### [3月7日（土）]

#### (1) ワークショップ（場所：多目的ホール）

- ・テーマ「ジオパークの考え方」
- ・ジオパーク活動の3つの柱（保全・教育・地域振興）についてのワークショップを開催

#### (2) シンポジウム（場所：大講義室）

##### ①開会式

##### ②基調講演

- ・イリアス・バリアコス氏（レスポス島ジオパーク、レスポス自然史博物館、山陰海岸と姉妹提携）
- ・目代邦康氏（日本ジオパーク委員会委員、公益財団法人自然保護助成基金）  
「湿潤変動帯における持続可能な開発のための教育」

##### ③日本のジオパークにおける教育とその課題

- ・梶原宏之氏（阿蘇たにびと博物館）「阿蘇ジオパークにおける地域デザインと博物館教育活動」
- ・柚洞一央氏（室戸ジオパーク、地理専門員）「地域住民と行政が共に運営するジオパークを目指して」

##### ④ジオパーク学習及び実践の成果報告

岩美高校、室戸高校（高知県）、鳥取環境大学ジオ部

##### ⑤総合討論「ジオパークを活用した地球科学教育」

座長）松原典孝助教授（兵庫県立大）・新名阿津子准教授（鳥取環境大学）  
パネリスト）イリアス・バリアコス氏、目代邦康氏、梶原宏之氏、柚洞一央氏

#### (3) 交流会（3月7日（土） シンポジウム終了後）

### [3月8日（日）]

#### ○ジオツアー

- ・ルート（予定）：鳥取環境大学→鳥取駅→鳥取砂丘→岩井温泉→湯村温泉→鳥取駅→鳥取環境大学
- ・定員：先着20名

平成26年米子ーソウル国際定期便利用の来県外国人による  
鳥取県への経済波及効果の暫定値について

平成27年2月16日  
観光戦略課

平成26年(1月～12月)における、米子ーソウル国際定期便を利用し来県した外国人数が確定し、鳥取県への経済波及効果等(暫定値)の推計を算出しましたので、お知らせします。

1 平成26年(1月～12月)米子ーソウル国際定期便の利用実績(アジアナ航空山陰支店提供)

○年間搭乗人数合計(延べ人数:米子ーソウル便の片道搭乗で、1人搭乗と計算)

(人)

	座席数	搭乗人数	搭乗人数構成			搭乗率	
			日本人	外国人			
				合計	韓国人		その他
平成26年	51,446	25,749	9,175	16,574	15,944	630	50.1%
平成25年	51,972	26,108	13,763	12,345	11,819	526	50.2%

〔概況〕搭乗者数は、前年と比較し359名減少したが、外国人利用者数は4,229名の大幅増。

※詳細は、別紙「平成26年米子ーソウル便の利用実績について」参照。

2 経済波及効果 等

(1) 米子空港におけるアジアナ航空利用者調査概要

- ・実施主体:鳥取県(JTB総研への委託により実施)
- ・調査方法:平成26年8月、米子ーソウル便利用の来県外国人への対面調査
- ・回答者数:205名

(2) 米子ーソウル便利用の来県外国人数(仁川→米子) (人)

	合計	構成	
		韓国人	その他
平成26年	8,438	8,099	339
平成25年	6,404	6,115	289

〔概況〕円安の影響等により来県外国人数は2,034名増加。(韓国人は前年と比較し1,984名増)

(3) 平成26年(1月～12月)消費額

○6億4073万9530円

〔内訳〕一人当たり平均消費額75,935円 × 来県外国人数8,438名

(4) 平成26年(1月～12月)経済波及効果

○7億4355万9000円(暫定値)

〔内訳〕直接効果4億5095万7000円、一次効果1億5226万7000円、二次効果1億4033万5000円

## 1 年間搭乗人数合計

(注)下段カッコ内は前年同期実績

	提供座席数	搭乗座席数	搭乗者			搭乗率
			日本人	韓国人	その他	
1月	4,322席 (4,206席)	2,231席 (1,884席)	647名 (686名)	1,486名 (1,154名)	98名 (44名)	51.6% (44.8%)
2月	3,912席 (3,996席)	2,297席 (2,729席)	866名 (1,278名)	1,413名 (1,428名)	18名 (23名)	58.7% (68.3%)
3月	4,222席 (4,922席)	1,671席 (3,310席)	877名 (2,041名)	747名 (1,204名)	47名 (65名)	39.6% (67.2%)
4月	4,214席 (4,254席)	1,695席 (2,123席)	645名 (817名)	997名 (1,264名)	53名 (42名)	40.2% (49.9%)
5月	4,310席 (4,062席)	1,677席 (1,976席)	528名 (1,020名)	1,114名 (914名)	35名 (42名)	38.9% (48.6%)
6月	4,342席 (4,244席)	2,427席 (1,926席)	913名 (1,164名)	1,403名 (742名)	111名 (20名)	55.9% (45.4%)
7月	4,158席 (4,778席)	2,382席 (1,994席)	689名 (1,107名)	1,663名 (821名)	30名 (66名)	57.3% (41.7%)
8月	4,596席 (4,182席)	2,621席 (2,233席)	1,023名 (1,342名)	1,536名 (834名)	62名 (57名)	57.0% (53.4%)
9月	4,286席 (4,266席)	1,983席 (2,460席)	709名 (1,084名)	1,249名 (1,345名)	25名 (31名)	46.3% (57.7%)
10月	4,412席 (4,226席)	2,474席 (1,602席)	910名 (905名)	1,520名 (662名)	44名 (35名)	56.1% (37.9%)
11月	4,298席 (4,184席)	1,936席 (2,089席)	684名 (1,385名)	1,217名 (657名)	35名 (47名)	45.0% (49.9%)
12月	4,374席 (4,652席)	2,355席 (1,782席)	684名 (934名)	1,599名 (794名)	72名 (54名)	53.8% (38.3%)
計	51,446席 (51,972席)	25,749席 (26,108席)	9,175名 (13,763名)	15,944名 (11,819名)	630名 (526名)	50.1% (50.2%)

## 2 米子ソウル便利用の来県外国人数(仁川→米子)の推移

	合計	構成	
		韓国人	その他
平成21年(1月～12月)	4,973名	4,787名	186名
平成22年(1月～12月)	7,178名	7,000名	178名
平成23年(1月～12月)	4,809名	4,653名	156名
平成24年(1月～12月)	4,769名	4,564名	205名
平成25年(1月～12月)	6,404名	6,115名	289名
平成26年(1月～12月)	8,438名	8,099名	339名

## 第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会について

平成27年2月16日  
ス ポ ー ツ 課

第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会が、以下のとおり開催されますので、報告いたします。

### 1 期 日

平成27年2月20日（金）から2月23日（月）

### 2 会 場

群馬県利根郡片品村

### 3 競技種目

ジャイアントスラローム、スペシャルジャンプ、コンパインド、クロスカントリー

### 4 派遣選手団

#### (1) 派遣選手団数

本部役員	監督・トレーナー・選手	合 計
13名	36名	49名

#### (2) 派遣者数内訳（監督・トレーナー・選手は別紙のとおり）

区 分 種 目	監督	選 手								トレーナー	合計
		成年男子			成年女子		少年		選手計		
		A	B	C	A	B	男子	女子			
ジャイアントスラローム	1	3	1	1	2	0	6	4	17	1	19
クロスカントリー	1	2	3	1	0	0	6	3	15	1	17
合 計	2	5	4	2	2	0	12	7	32	2	36

#### (3) 旗手

えんどう 遠藤 かな 花奈（米子東高等学校） 少年女子 クロスカントリー

#### (4) 決意表明

もりおか 森岡 やすひこ 靖彦（ヒュッテ白樺） スキー競技 監督

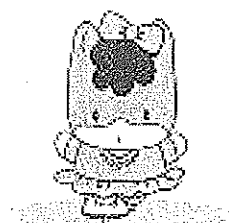
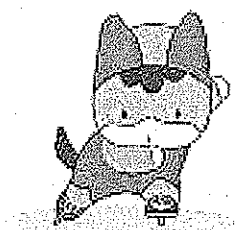


## 監督・トレーナー・選手名簿

【別紙】

種目	種別	派遣区分	ふりがな	年齢 学年	勤務先学校名等	備考
			氏名			
ジャイアントスラローム	全種別	監督	もりおか やすひこ 森岡 靖彦	43	ヒュッテ白樺	
クロスカントリー	全種別	監督	かわぼた よしはる 川端 義治	64	あさひ警備保障(有)	
ジャイアントスラローム	全種別	トレーナー	わたなべ かずゆき 渡部 和幸	53	陸上自衛隊 第8普通科連隊	
クロスカントリー	全種別	トレーナー	なかの としひろ 中野 敏寛	50	陸上自衛隊 第8普通科連隊	
ジャイアントスラローム	成年男子A	選手	おおふじ しょうた 大藤 翔太	21	近畿大学	第69回国民体育大会「やまがた樹氷国体」 2位入賞
		選手	あおと どうしん 青砥 童心	21	日本体育大学	
		選手	こだに りょうじ 小谷 峻慈	21	大阪体育大学	
	成年男子B	選手	かわかみ たくま 川上 拓磨	33	中国銀行	
	成年男子C	選手	いどのり すぐる 糸乗 克	34	鳥取城北高校(教)	
	成年女子A	選手	つつみ はるさ 堤 晴彩	21	鳥取大学	
		選手	はまだ そら 濱田 空	19	武庫川女子大学	
	少年男子	選手	かなぐさ ちなつ 金釘 千夏	3年	鳥取城北高校	
		選手	かわと まさとし 川戸 将稔	3年	鳥取城北高校	
		選手	もりした かいと 森下 海渡	3年	八頭町立八東中学校	
		選手	おさき りく 尾崎 凌玖	3年	八頭町立八東中学校	
		選手	ひろえ りょう 廣江 嶺	1年	県立米子東高校	
		選手	しみず つくも 清水九十九	2年	米子北高校	
	少年女子	選手	なかばやし あや 中林 彩	3年	鳥取城北高校	
		選手	うだがわ まゆ 宇田川真優	1年	米子北高校	
		選手	いとう はな 伊藤 花	1年	県立鳥取商業高校	
選手		はたの ゆか 波多野由夏	3年	鳥取城北高校		

種目	種別	派遣区分	ふりがな	年齢学年	勤務先学校名等	備考
			氏名			
クロスカントリー	成年男子A	選手	きむら ひろき 木村 広輝	25	(株)日本交通	
		選手	くぼい こうへい 久保井耕平	20	陸上自衛隊 第8普通科連隊	
	成年男子B	選手	かわはた たいけい 川端 大介	34	陸上自衛隊 第8普通科連隊	
		選手	まつもと まさし 松本 真志	27	陸上自衛隊 第8普通科連隊	
		選手	わたなべ かずお 渡部 和生	27	陸上自衛隊 第8普通科連隊	
	成年男子C	選手	いわなみ あきひろ 岩波 昭宏	39	陸上自衛隊 第8普通科連隊	
	少年男子	選手	かわもと りゅう 河本 龍	3年	大山町立名和中学校	
		選手	たなべ しんや 田邊 真矢	1年	県立日野高校	
		選手	かわかみ みつたか 川上 光隆	3年	米子北高校	
		選手	ふじわら うきよ 藤原 有恭	1年	県立日野高校	
		選手	むらかみ ひろき 村上 弘樹	3年	県立米子工業高校	
		選手	あたらし ともき 新 友樹	1年	県立米子工業高校	
	少年女子	選手	えんどう かな 遠藤 花奈	2年	県立米子東高校	
		選手	あさだ あやえ 浅田 彩絵	2年	米子北高校	
		選手	えんどう ふゆ 遠藤 芙憂	1年	米子北高校	



# 2015ぐんま冬国体

# 『これは事件だ!?』鳥取砂丘コナン空港オープニングセレモニーについて

平成27年2月16日  
まんが王国官房  
交通政策課  
観光戦略課  
空港港湾課

昨年11月に愛称が決まった鳥取砂丘コナン空港のオープニングセレモニーを次のとおり実施します。

## 1 オープニングセレモニーについて

### (1) 第1部 記念式典

- ア 日時 平成27年3月1日(日) 午後1時～1時30分
- イ 場所 鳥取空港国際会館1階センタープラザ
- ウ 主催 鳥取県、鳥取空港の利用を促進する懇話会
- エ 内容 鳥取県警察音楽隊オープニング演奏  
主催者あいさつ  
来賓祝辞  
くす玉開披  
記念撮影(参加者全員)

### (2) 第2部 オープニングイベント

- ア 日時 平成27年3月1日(日) 午後1時40分～2時20分
- イ 場所 鳥取空港国際会館1階センタープラザ
- ウ 内容 亜海れい子ミニコンサート  
ファン向けイベント

## 2 関連行事について(いずれも3月1日(日)実施)

### (1) 東京便到着者歓迎

- ア 到着時刻 12:00、14:45 到着便を予定
- イ 到着場所 空港ビル1階到着ロビー
- ウ 内容 到着ロビーにて到着者へ記念品(ボールペン、メインビジュアルチラシ・観光パンフ、缶バッチなど)を配布する。

### (2) 空港連絡バス(ラッピングバス)乗客の見送り

- 12:00、14:45 到着便に合わせた空港連絡バス乗客の見送り
- ※3月1日から、空港連絡バスに鳥取砂丘コナン空港のロゴ・マーク、メインビジュアルを装飾する。(空港-鳥取駅間、空港-倉吉駅間を結ぶ連絡バス2台に装飾予定)

### (3) オープニングセレモニー参加者対象記念ツアー

- ア 名探偵コナンに会えるまち北栄町満喫ツアー(北栄町主催:募集人員90名)
- イ 鳥取砂丘&マリニピア賀露満喫ツアー(鳥取市主催:募集人員30名)

### (4) 鳥取砂丘コナン空港内覧会

- ターミナルビル制限区域を含む空港内装飾の内覧会を午前及び午後に数回実施する。

